

初めて経験した質疑

毎議会が挑戦です



ターは、名細の地域に建設されることもあり、地域住民の不安に対して安全面や公害などの心配はないか等について質しました。新施設に移った後は、処理の流れが若干変更されペットボトルと缶を分けて回収するよう検討しているとのこと。

常任委員会では・・・

みなさんこんにちは。暑かった夏もようやく一段落し、爽やかな秋風が心地よい季節になりました。

今回の議会で私は、鯨井の地域に建設される新清掃センターに併設される予定のリサイクルセンター新築

工事請負契約議案に対して質疑を行いました。議案に対する質疑は、今回が初めての経験です。新清掃セン

所属する文教常任委員会では、川越市立川越高校の授業料値上げ議案や、補正予算の学童保育所の増築、図書館などのアスベスト除去工事などについて審議。新人の私にとつては毎議会勉強させられることばかりです。いっせいで方選挙、参議院選挙、県知事選挙と選挙続きの疲れも忘れ、充実した一ヶ月間でした。

洪水にならないか心配 南小畔川の土砂さらいを！

南小畔川が県道川越日高線

に交差する付近の田中橋、しもの橋付近では流域に土砂が堆積し、雑草が身の丈を超えるほど茂っており、先日の台風の時も大変危険な状態だったことを取り上げました。

南小畔川は県が管理しており、年に二回堤防部分の草刈をおこなっています。

川床については状況を見ながら必要に応じて浚渫をおこなってきたとのこと。

の周辺は川が蛇行している部分で流れも緩やかなため土砂が堆積しやすい状況にあります。



市として県に 要望していく

写真を使いながら現状を紹介し「洪水の危険もあり地域の住民は不安です。安心して生活できるように市民の目線に立って対応して欲しい」と要望。市は「県が管理をおこなっている。今年度調査がおこなわれるとのこと。市からも浚渫をおこなうよう県に要望していく」と答えました。

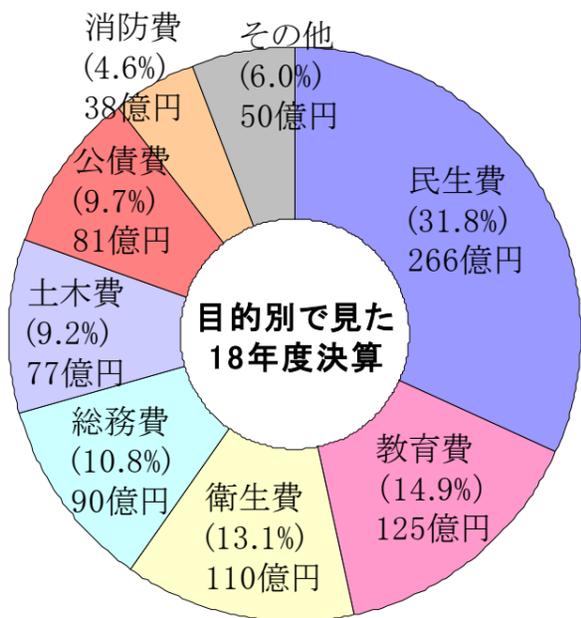
なお、九月市議会で、かきた有がおこなった一般質問は次の通りです。

- 一、改定後一年余が経過した介護保険について
- 二、南小畔川の浚渫について

税金はどのように使われているのか？

「市民から集められた税金はどのような使われているの？」こうした声が寄せられています。川越市の税金はどんなふうに使われているのか、シリーズでお知らせしていきます。

シリーズ 税金の 使われ方①



税金の使われ方をみる場合、どのような分野に使われているのか目的別で分類する方法と、職員の給与や施設建設の費用など、その性質によって分類する方法があります。目的別に見ると、自治体がどのような政策を重視しているかわかります。川越市で昨年使われた税金は約840億円。その内訳を見てみましょう。第1位は民生費です。

医療、高齢者や障害者などの社会福祉、児童福祉、生活保護、災害救助などもここに含まれます。第2位は教育費で、学校教育のほか社会教育や公民館、図書館、文化財保護などに使われます。第3位は衛生費で、保健衛生や清掃事業、下水道整備などに使われます。このように、川越市では暮らしや福祉、教育などがより重視された使い方がわかります。

日本共産党

2007年10月・11月

市議会議員 かきた有

市議会報告

発行 日本共産党議員団
連絡先 川越市役所 日本共産党議員団控室
電話 224-8811 (内線3636)
ホームページ <http://www.jcp-kawagoe.jp/>

市政・生活相談 ～お気軽にご相談下さい～

自宅 川越市小堤306番地5 電話 233-8369

FAX 020-4669-8696 E-Mail mail@kakita.ac